

関西大学幼稚園

要覧



幼児期は人という大木を 育てる根っこです。

園庭にそびえ立つ楠木の大木。

創立以来 70 年以上の時の流れの中で子どもたちの
あそびを見つめ、つぶやきや歓声を聞いてきました。
安らぎの木陰を与えてくれています。



教育理念

すべての子どもには各々の人間性や能力がすでに備わっている。
それらを尊重し、全面的に開花させ、自分で考え行動できる子どもに育てる。

教育方針

友だちと話し、笑い、泣き、歌い、遊ぶといった何気ない園生活の中に
楽しみ（幸せ）を見い出せるように援助することが生きる力を養うものであると
考えた人間力形成教育を実施しています。



お別れ会で「兄弟すずめ」をしてみせる年長児。

自主性の陶冶



年長児が作ったこいのぼり。

協同性の涵養



柿の木を見る年少児。

生きる力の育成

自主性の陶冶

いきいきと自己表現ができ、積極的に
いろいろなことに取り組むことのできる
子どもにすること



なわとび作り



マフラー作り



ぬらし絵



年長児になると三色の布を
三つ編みにして自分のなわ
とびを作ります。集中して
根気強く編みあげて作って
いきます。

自分たちでチームを作り、
ジャンケンゲームを楽しむ
年長児。



関大幼稚園のこいのぼりは毎年
年長児が1枚1枚うろこをしぼり
染めにしてアイロンをかけ、縫い
付けて作ります。
針に糸をとおして1針1針縫ってい
く眼は真剣そのものです。



協同性の涵養

みんなで協同して仕事をしたり、
遊んだりすることのできる
子どもにすること



おそうじの日



生きる力の育成

困難に出合った時、前向きに解決していける
豊かな感性と生活の知恵をもつ
子どもにすること



自由遊びの中には“学び”がいっぱい



年長児の
「お店屋さん」で
遊ぶ年少児



想像力、創造力、
表現力、集中力…
様々な力を働かせながらの
自由遊び

やりたい放題、遊ばせっ放しの自由遊びではなく、遊びの内容やひとりひとりの子どもの育ちをしっかりと捉え、その子らしさを見つけ、認め、見守りながら関わることに重点をおき、子どもがバランスのとれた発達ができるよう配慮します。

意欲を持ち、夢中になって取り組む遊びの中には、たくさんの“学び”があります。疑問を持つ・調べる・試す・友だちと一緒に考え工夫することや、嬉しい・楽しい・悲しい等の気持ちを体験することも“学び”です。

大きな困難に出会った時、困難に打ち勝つ力やいろいろな解決方法を見出せる力の源は、幼児期の主体的な遊びの中で培われるものだと言信しています。

お誕生日のお祝い



手作りのプレゼントを
お祝いの箱に…。



6本のろうそくと
7才に向けてのろうそくを
飾った年長児のお祝いの
テーブル。



両親や祖父母、兄姉に祝福されて、家族の一員に加わった日は、生涯の中で一番大切な日ではないでしょうか。

本園では、そのかけがえのない生まれた日（園がお休みの場合はできるだけ近い日）に、保護者の方にも参加してもらい、クラスのお友だちに囲まれてお祝いをしています。クラスの人数回お祝いを経験することで、ひとりひとりの“存在の大切さ”や家族や仲間、多くの人のおかげで“今がある喜び”を幼いなりに感じてほしいと願っています。

関西大学との連携

本園では併設校の利点を活かし、外国人留学生や文化会の学生との交流を行っています。

英語で遊ぼう

週に一度、同じ留学生に来てもらい身近に感じることで、留学生が話す英語への興味関心の芽を育てることを大切にしています。留学生との楽しかった経験を重ね、英語に抵抗感なく取り組めるように考えています。



留学生と遊ぼう

様々な国からの留学生と一緒に遊んだり、昼食を食べたりする日を設けています。ドイツ・フランス・メキシコ・ベトナム・マレーシア・台湾・中国・韓国等。子どもたちは、留学生の優しさに触れたり、一緒に楽しい時間を過ごすことで、国が違って、話す言葉が違ってみんな優しく感じたことが、これからの国際交流を深めていく上で一番大切なことだと思っています。様々な留学生との出会いによって、自分との違いを尊重できる心を育むことを大切にしたいと思います。



楽しいっどい（芸術体験）

様々な芸術に触れさせることで子どもの感性に働きかけ、心を動かす体験となるように考えています。実際に間近で見て聞いて感じることを大切に集いを年に2～3回計画しています。関西大学文化会の邦楽部・交響楽団・グリークラブ（男声合唱）に協力をお願いし、参加してもらっています。



リズム運動

＼ カメ ／



＼ ワニ ／



＼ メダカ ／



子どもたちのふだんの生活や遊びの中で不足していると思われる運動量を補い、バランスのよい身体作りができるようにリズム運動を取り入れています。
年長児は週二回、年中児は週一回、年少児は二学期から週一回広いホールでピアノに合わせて身体を動かしリズム運動を楽しんでいます。

おやつ作り

「おいしくなあれ、
おいしくなあれ…」と
心を込めて
クッキーの生地作り。



「どんな形にしようかな…」
指先を器用に動かす
年長児。



幼い子どもたちは大人の真似をしながら育っていきます。特に食事を作る大人の姿は子どもにとってはとても魅力的でしょう。魅力ある大人にあこがれる気持ちは、子どもの成長発達に欠かせない要因のひとつです。

子どもの世界である幼稚園では、年長児が年少・年中児の“あこがれの存在”です。年長児による、おやつ（クッキー・お月見団子等）作りは、作る年長児にとっても、作ってもらう年少・年中児にとっても大きな喜びであり、楽しみでもあります。

四季折々の取り組みと行事

伝統の中に息づき大切にされてきた行事や、季節の移ろいと共に生活の中で根付いている行事を大切に考えています。ともすれば行事は子どもを喜ばせ、大人に見せるために行なわれがちですが、本園の行事はイベント的な要素を廃し、生活の一部として取り入れることで、子どもの成長に役立つためのものにしたいと考えています。また、豊かな自然環境の中で四季を感じながら過ごすことを大切にしています。

SPRING

春

- 進級式
- 入園式
- 定期健康診断
- 端午の節句を祝う（兜・鯉のぼり）
- 春の遠足（年中・年長組）
- ジューンベリー摘み
- 今年度の鯉のぼり揚げ初め
- さつまいもの苗植え



チューリップの球根抜き



SUMMER

夏

- プール開き
- ブルーベリー摘み
- 笹取り
- 七夕のつどい
- フルーツマスの栽培・収穫
- 夏の夜のつどい（年長）
- 夏期保育（自由参加）



柿



みかん



AUTUMN

秋

- お月見
- お庭でのおたのしみ会
- 秋の遠足
- 芋掘り
- 園庭で焼き芋
- チューリップの球根植え
- みかん・柿の収穫
- ほしぐみ・ゆきぐみと遊ぼう（年長）



ザクロの木



お月見だんご



お庭でのおたのしみ会

WINTER
冬

- お餅つき
- 冬至に向けて (ゆず茶・みかん湯)
- 鏡開き
- 豆まき
- ひな祭り
- お別れ遠足 (年長)
- お別れ会
- 卒園式



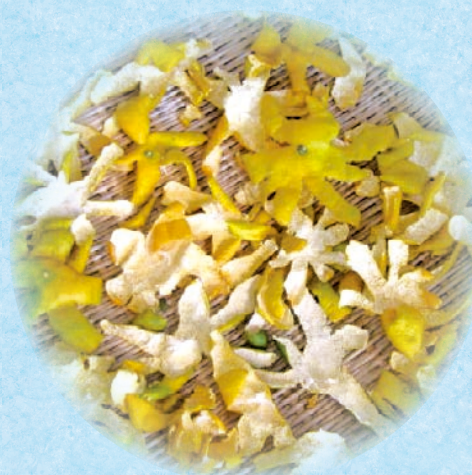
セイロでもち米を蒸す



みかん湯



鏡開き



お別れ会

3歳児の姿



お客さんごっこもおだんごづくりも片付けも食事の後の歯磨きも3歳児にとっては全て楽しみながら自分のものにしていくものです。お友だちと一緒に遊ぶことが楽しいと思えるように働きかけていきます。

3歳児にとって、未知の世界である幼稚園へ通うことは大きな期待と同時に大きな不安でもあることでしょう。

「ゆっくり育ってほしい」というのが私たちの願いです。

決してあせらず、急がず、ひとりひとりの今をみつめて、楽しい日々を重ねていきたいものです。3歳児の一年は集団の中の個を尊重するとともに、内実の育ちを大切にしたい時期と考えています。

また、身辺自立（身のまわりのこと）や生活習慣など、ご家庭との連絡をとりながら少しずつ自分のものにしていきます。

登園後すぐ遊び始められるように通園服を体操服にしています。



4歳児の姿



子どもたちは広い園庭で土や水を使って遊ぶのが大好きです。友だちと協力し、自分たちで考え工夫しながらいろいろなものを作っていきます。



幼稚園の中での4歳児は小学校でいう3・4年生にあたるといえます。幼稚園の生活にも慣れ、どんどん遊び場も遊び方も広がり変化していきます。自信をもって行動できるようになった年中児は、時としてはめをはずすこともあります。人のつながり、人への思いなどもどんどん広がり深まってきます。グループでの行動にも興味をもつようになり、集団あそびを好むようになります。

また、年長児への憧れも強まり、年長児のしている遊びに興味を示し、真似してやってみようという気持ちが強くなります。3歳児の新しいものを吸収する力とはまた違った質の意欲や創造力、行動力が成長する時期です。



5歳児の姿



何でもやってみたいという気持ちと実際の力とのバランスがとれないで、時には無秩序な行動に出てしまう4歳児の時と違って、見通し・見極めの力が育ちはじめるのが5歳児だといえます。

遊びに目的意識がもてるようになり、制作やグループ遊びにも具体的な目標や見通しが少しずつもてるようになります。集中力が増し、ひとつの遊びに夢中で取り組んだり、工夫したり、友だちと相談しながら遊べるようになります。

また、社会性もぐんと成長し、友だちの気持ちを思いやろうとする心が芽生えてきます。この時期にしっかりと自分を愛し、人をも愛し、自信をもって新しい社会へと巣立っていけるような人間力が形成されます。



3学期になるとドッチボールのルールもしっかり理解できゲームが楽しくなります。友だち同士誘い合って長時間子どもたちだけで集中して楽しめます。



うさぎ・小鳥・かものお世話をグループで行います。子ども用の包丁を使い、かまが食べやすい大きさに切ります。小動物と触れ合ったり、餌をあげることで命を感じ、慈しむ気持ちを育めるように関わっています。

関西大学幼稚園の概要

本園は、昭和 26 年 4 月 25 日に創立開園し、2025 年 4 月に創立 74 年を迎えました。現在に至る長い歴史の中でひたすら子どもたちの成長やその生活を考え、努力し続けています。



保育時間

8 時 45 分～ 14 時（週 5 日）

* 但し、年中・年長組の 4 月は、新しい環境に慣れるため、水曜日は 11 時 30 分までです。

年少組は、初めての園生活なので子どもに無理のないように保育時間を少しずつ長くしていきます。

2 学期から週 5 日、14 時までの保育になります。

土曜日は休園です。



給食

週 5 日（月～金）、給食制度があります。関西大学生協同組合から届けてもらっています。配膳方式で子どもの食べる量に合わせて盛り付けています。



絵本の貸し出し

はぐくみの会の貴重な財産として約 4000 冊の本があります。「絵本のへや」には、毎週 1 回子どもたちが本を借りにやってきます。関西大学幼稚園の貸し出し文庫の歴史は古く、内容も幼稚園としては充実しています。年少組は貸し出しを行っていませんが、幼い時からお話の世界であそべる子どもになるよう、是非、お家の方も利用して、読みきかせをして欲しいと思います。



絵本貸し出し「今日はどの本を借りようかな？」

通園

教師が送迎する集団通園（電車通園・徒歩通園）と保護者の方が送迎する個人通園があります。

集団通園

電車通園の地区 ▶ 淡路から北千里までの各駅

徒歩通園の地区 ▶ 大学、上山手、山手町、円山町、江坂・千里西



はぐくみの会

子どもたちは集団生活の中でいろいろなことを学び、成長していきます。そのためには保護者の方と通じ合い、手をつないでいくことが必要です。そのためにつくられたのが「はぐくみの会」（保護者の会）です。会費の管理をはじめ会の運営は保護者の方に任されています。会員相互の親睦や向上のため、クラブ活動（コーラス部・人形劇部）があります。



人形劇部の「たなばた」



コーラス部

子育て支援

預かり保育

預かり保育「なないろ」について

本園の預かり保育は、子どもにとって無理のない状態を守ることを第一に、午後のひとときをくつろぎながら過ごすことで穏やかな心持ちで夕刻を迎えられるよう、十分に配慮しています。保護者の方にも、子どもの様子を見ながら無理のないご利用をお願いしております。

A年間を通して利用したい曜日は必ず利用できる枠

B利用したいときに随時申し込む枠 があります。

どちらも開始月、実施時間は同じです。Aは事前に希望者を募集し、優先的に利用が可能です。Bは子どもの過ごす環境を考え、人数が多い場合は受け入れを締め切ることがあります。

開始月	年長児4月～ 年中児4月～ 年少児5月～
実施日	月曜日～金曜日
実施時間	保育前 8:15～8:45 保育終了後 16時・17時・18時まで(園迎え)
費用	保育前 (8:15～8:45) 150円 保育後 16時まで 700円 17時まで 1,000円 18時まで 1,300円 (16時以降はおやつを含む)

長期休業中の預かり保育「なないろ」について

夏休み	7月下旬～8月上旬 8月20日頃～8月末
冬休み	終業式後の数日間
春休み	実施なし

教育相談

大阪市幼児教育センター主催の幼児教育相談研修を終えた教師による教育相談と並んで、関西大学心理相談室相談員の先生やカウンセラーの方による専門的な教育相談も月1回行われ、専門的な悩みの相談を受けています。もちろん相談内容についての秘密は守られます。

2歳児親子教室

入園前の子どもとお家の方のために「2歳児親子教室」を開いています。あやし遊びやわらべ歌など素朴な親子遊びを通して子どもと向き合う楽しさを感じてもらうひと時を持ちます。又、子どもの遊んでいる様子を見守り時には関わって一緒に遊ぶことで、子どもへの理解が深まり子育ての一助になればと考えています。遊んだ後はほっと一息、親子で一緒におやつをいただきます。



詳しくは、ホームページをご覧ください。





関西大学幼稚園

〒564-0073 吹田市山手町 3 丁目 5 番 34 号
電話 06-6387-3752 FAX.06-6388-9919